

佐藤勘三郎



第十六代旅館傳人
(さとうかんざぶろう)

SADOKANSABURO





第十六代旅館傳人
(さとうかんざぶろう)







苦行四十八天



紀州高野山

高野山是弘法大師空海在弘仁七年（**816年**）時得到嵯峨天皇的允許所開創的，成為真言密教的基本修煉場所。自開創以來將近**1,200年**，是個在歷史上知名的山

取回聖明之火





















家宝の聖火の由来

文政十一年十月高松藩主松平定重公、
再春の八難を為し、
貧民の一人、
此合間に、
家宝の聖火

家宝の聖火

百下、
母屋、
三百年前、
此合間に、

註釋

文政十一年十月一日

館主 敬白

第三十三代

女将の佐藤千賀子さん。「秋保の宝であるお湯に入りながら美しい自然をお楽しみいただけると嬉しいです」。

夢幻級飯店系列

千年之宿-佐勘旅館 的開發與投資

投資金額:起造成本+千年的心血

興建主旨:名取之御湯-德川光宗之所愛



中庭



古木

ヒイラギ(モクセイ科)
樹齡 200年



湯



ショッピングプラザ

おみやげ



お食事



佐勘の料理職人集団を統括する料理長、富永正夫。彼が目を付けたこだわりの食材をご紹介します。「食の安全」は、最近さまざまなメディアに取り上げられておりますが、佐勘では、全社員がこの問題を真剣に考え、お客様に対して高いレベルの安全と安心を提供していきたいと考えております。そんな佐勘が選んだこだわりの食材の数々…。自信を持って皆様に紹介いたします。

聖火代代傳承

佐勘的大廳裏，有一四方形的地爐，在日本的傳統建築中，地爐就是客廳的中心。

佐勘地爐中的爐火，已400餘年不息，形同聖火。這火種是第十六代“佐藤勘三郎”苦行48天，遠赴日本佛教聖地—紀州高野山取回的燈明之火，聖火代代傳承，被視為家族的傳統精神，雖歷經世道變遷仍堅持地被保存了下來。







THIS IS NOT A GOOD SERVICE MANNER SHOULD BE

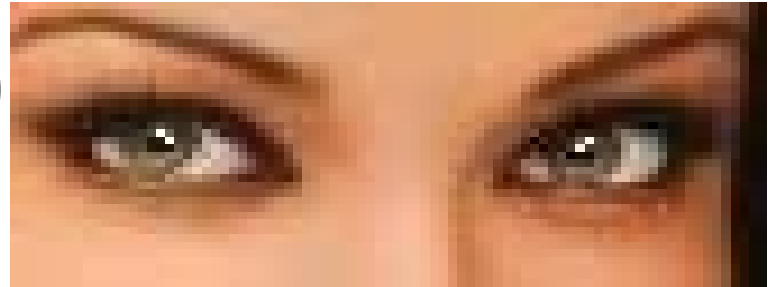
她的服務禮儀錯在那裡?

SUPER HOTEL

新鮮眼(Fresh Eyes)



新鮮眼(Fresh Eyes)



新鮮眼有兩個基本的意義：

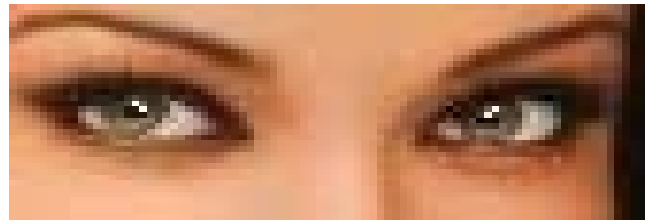
1. 一雙新鮮、好奇、探索、學習的眼睛。

代表對外界資訊吸收與發覺的專注力。

2. 一雙明亮、熱誠、飛揚、尊重的眼睛。

代表內涵與氣質的外顯表現。

新鮮眼(Fresh Eyes):精力充沛的雙眼/氣色好的雙眼/新穎動人的雙眼









The Golden Rule



Treat others as you would like to be treated 待人如己

